

第5節 その他の書き方

1 本文以外の書き方

(1) とびら（表紙）

一般に点字書のとびらには、書名・巻数・全巻数・著者および訳者名・発行所名（製作館名）などが記載されている。

文集や調べ学習のまとめなどの表紙も、点字の本の表紙を参考にして、タイトルを線で囲んだり、全体に枠を付けたりするのもよい。

(2) 目次

目次は、見出しの項目が少なくても1ページを使用する。1行目の7マス目か9マス目から「目次」と書き、（その下の行は1行あけてもよい）1行に1項目ずつ行を詰めて書く。

該当ページ数は行末に記し、項目とページ数との間は、②の点 ⠠⠨ や⑤の点 ⠠⠨ などをつなぎ、点線の前後はそれぞれ一マスずつあける。ページ数は、数符の位置を揃えて書くのが一般的である。

（例）

```

□ □ □ □ □ □ □ □ ⠠⠨ ⠠⠨ ⠠⠨ ⠠⠨
□ □ ⠠⠨ ⠠⠨ ⠠⠨ ⠠⠨ ⠠⠨ ⠠⠨ □ ⠠⠨ ⠠⠨ ⠠⠨ ⠠⠨ ⠠⠨ ⠠⠨ ⠠⠨ ⠠⠨ ⠠⠨ ⠠⠨ ⠠⠨ ⠠⠨ ⠠⠨ □ ⠠⠨ ⠠⠨
□ □ ⠠⠨ ⠠⠨ ⠠⠨ ⠠⠨ □ ⠠⠨ ⠠⠨ ⠠⠨ ⠠⠨ ⠠⠨ ⠠⠨ ⠠⠨ ⠠⠨ ⠠⠨ ⠠⠨ ⠠⠨ ⠠⠨ ⠠⠨ ⠠⠨ ⠠⠨ □ ⠠⠨ ⠠⠨ ⠠⠨

```

(3) ページ付け

両面書きのページは、用紙の表面最上行（ページ行）の右端近くに奇数ページだけを付け、偶数ページは省略するのが一般的である。

前書きや序文などを本文と区別するには、下がり数字を使ったり、目次には「モク1」、または「モクジ1」と書いたりする。

2 略記法

メモやノート・日記・表などで、少ないマス数でコンパクトに書き表す必要がある場合は、下がり数字やハイフンを用いて、次のように略記することができる。このとき、数字の中のハイフン（ ⠠⠨ ）は、コロンとして時刻の略記にのみ用い、コロンの後で数符は用いない。

